

# あいち民研 教育への権利部会 公開学習会

## 愛知の学閥問題を問う

愛知の教育の特徴として、教育委員会、校長会、教員組合の三者が一体となっていることが指摘されています。それは「癒着」と呼ばれる場合もあります。その結果、教育現場の切実な声が教育行政に届かず、県民の教育要求が教育政策に反映されないという事態を招いています。その三者を貫いているのが愛知教育大学の「学閥」です。

あいち民研教育への権利部会は早くからこの問題に着目し、2004年には『愛知の教員人事システム』（あいち民研叢書14号）、2008年には『人間と教育』に連載したものをもとに『教育の見えざる構図－愛知の学閥支配の実態－』を、2009年には「学閥支配をなくし、愛知の教育を改革するための提言」をとりまとめています。（あいち民研HPに掲載）

「提言」を出してから7年が経過しましたが、学閥問題は怎么样了のでしょうか。今回は、学閥問題を一貫して追及され、この7月に愛知県教育委員会に「愛知教育大学出身教員（＝学閥）優先人事を止めることを求める請願」を行われた井上さんに報告をお願いしました。井上さんは春日井市の小学校に長く勤務され、情報公開請求をもとに行政闘争を継続されているかたです。今回は、愛教大の学閥が人事でどのように優遇されているかなど具体的なデータをもとに語っていただきます。

ぜひ、ふるってご参加ください。

日時：2016年11月30日（水）午後6時半～8時まで

場所：名古屋市教育館（名古屋・栄）第1研修室

講師：井上 満さん（元春日井市立小学校教員）

参加費：無料

主催 あいち県民教育研究所・教育への権利部会

<http://aichi-minken.sakura.ne.jp/>